

## - DiagPrintout 取扱説明書 -

### 診断レポート作成の流れ

1. ご使用される診断機の時計設定を「設定」から確認します。
2. 事前にパソコンへ仮想 PDF プリンターをインストールします。

仮想 PDF プリンターをインストールしておくことにより PDF として保存（出力）することができます。

検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想 PDF プリンターがいくつか検索されますので、目的にあったソフトをインストールしてください。

※Windows 10 からは仮想 PDF プリンター「Microsoft Print to PDF」が標準装備されていますので、インストールは必要ありません。

3. 診断を行ない診断結果を保存します。
4. 診断機の SD カード（機種により本体）をパソコンに接続します。
5. 手順書を参考に PDF ファイルを作成してください。

■重要■

事前に仮想 PDF プリンターをパソコンへインストールしておくことにより、印刷時に PDF として保存（出力）できます。

検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想 PDF プリンターがいくつか検索されますので、目的にあったソフトをインストールしてください。

## 診断レポート印刷イメージ

【愛車診断レポート】		
お客様名：〇〇 〇〇		車種：〇〇〇
メーカー：〇〇〇		車台番号：XXXXXXXXXX
登録番号：〇〇 〇〇〇 〇 〇〇-〇〇		診断日：2018/07/24
車両型式：XXX-XXXXXX		
診断結果：		
システム	故障コード	内容
エンジン	29EB00	EGR 冷却、妥当性：排ガス再循環クーラー ハイパス フラップの故障、またはクーラー効率低下
フューエルポンプ	なし	
トランスミッション	なし	
ギヤセレクタースイッチ	なし	
ABS/DSC	なし	
電動パワステ	なし	
統合シャーン	482791	予測アシスタント：ナビゲーション データに異常あり
	D014F6	KOMBI インターフェース(走行距離/走行可能距離、276.48)：信号は無効
	D016E1	メーター パネル インターフェース (走行ダイナミクス表示ステータス、97.1.2)：信号は無効
エアバッグ	なし	
インストルメント	なし	
A/C	なし	
アラウンドビューカメラ	CAACO1	KOMBI インターフェース(走行距離/航続距離、0x330)：信号が無効
カメラアシスト	なし	
FEM	8040B7	ターミナル 15 のオフ： 始動性能上眼値に達した
	8040B9	ターミナル 30B のオフ： 始動性能上眼値に達した
FEM	なし	
運転席シート	なし	
タッチボックス	なし	
コントローラー	なし	
OC/HU+H	なし	
ビデオモジュール	なし	
TCB	なし	
ゲートウェイ	なし	
〇〇自動車 担当者：〇〇 〇〇 〒XXX-XXX 〇〇県〇〇市〇〇町XX-X TEL：XXX-XXX-XXXX / FAX：XXX-XXX-XXXX メール：XXX@XXX.XXX 使用テスト：FA1 31-000000		

1 / 1

車両情報

診断結果

自社情報

診断日は診断機本体設定の日付が反映されます。  
レポート作成前に必ず確認してください。

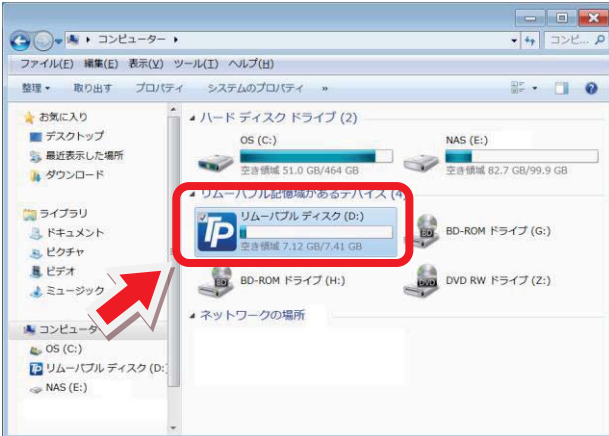
# 1. 基本操作



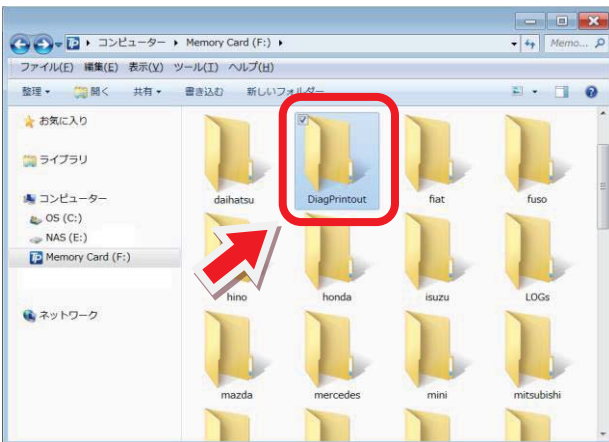
「DiagPrintout」ソフトをダウンロードする為に、ご使用の診断機をアップデートしてください。アップデートを行って頂くことにより SD カード内にソフトがダウンロードされます。

## 1 DiagPrintout の起動

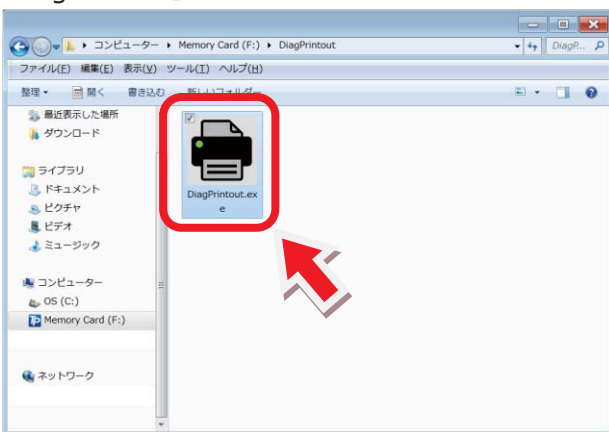
1. SD カードをパソコンに接続して「リムーバブルディスク」(SD カード) をダブルクリックします。



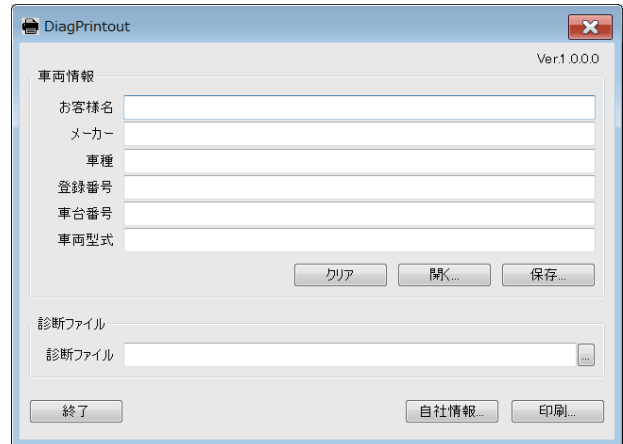
2. 「DiagPrintout」 をダブルクリックして開きます。



3. 「DiagPrintout」 をダブルクリックして起動します。

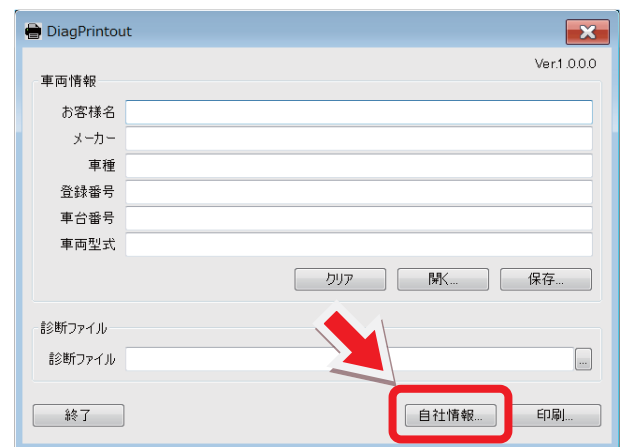


4. ホーム画面が表示されます。



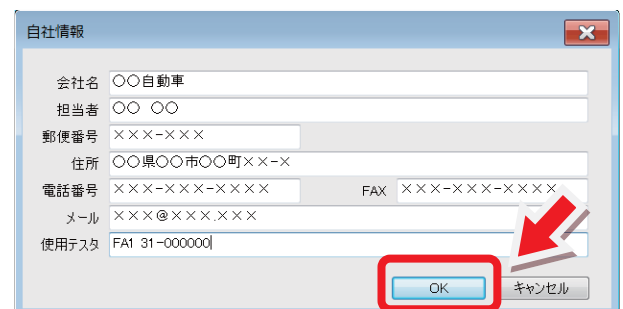
## 2 自社情報登録

1. 「自社情報」 をクリックします。



2. 入力欄に必要な事項を入力して「OK」 をクリックします。

※ファイル名 Companyinfo.cix で保存されます。  
 ※「使用テスト」欄には交付申請時のコード番号や本体シリアル番号を入力してください。



### 3 車両情報登録

1. 車両情報を入力します。

DiagPrintout Ver.1 0.0.0

車両情報

お客様名  
メーカー  
車種  
登録番号  
車台番号  
車両型式

クリア 開く... 保存...

メール  
診断ファイル

終了 自社情報... 印刷...

2. 入力欄に必要な事項を入力して「保存」をクリックします。

DiagPrintout Ver.1 0.0.0

車両情報

お客様名 ○○ ○○  
メーカー ○○○  
車種 ○○○  
登録番号 ○○ ○○○ ○ ○○-○○  
車台番号 XXXXXXXXXXXX  
車両型式 XXX-XXXXXX

クリア 開く... 保存...

診断ファイル  
診断ファイル

終了 自社情報... 印刷...

3. ファイルの保存先は任意の場所で問題ございません。SD カード内の「DiagPrintout」フォルダなど分かり易い場所を指定してください。

任意の**ファイル名**を入力して「保存」ボタンを押して保存します。

※「ファイル名.vix」ファイルで保存されます。

名前を付けて保存

コンピューター > Memory Card (F:) > DiagPrintout

整理 新しいフォルダー

お気に入り ライブラリ

コンピューター OS (C:) NAS (E:) Memory Card (F:)

ファイル名(N): XXXXXXXXXXXX  
ファイルの種類(I): 車両情報ファイル (\*.vix)

保存(S) キャンセル

### 4 診断ファイルの選択

1. 「診断ファイル」の右端のボタンをクリックして診断機で保存した診断ファイル（自己診断結果を保存した XML ファイル）を開きます。

DiagPrintout Ver.1 0.0.0

車両情報

お客様名 ○○ ○○  
メーカー ○○○  
車種 ○○○  
登録番号 ○○ ○○○ ○ ○○-○○  
車台番号 XXXXXXXXXXXX  
車両型式 XXX-XXXXXX

クリア 開く... 保存...

診断ファイル  
診断ファイル

終了 自社情報... 印刷...

2. 「診断ファイル」は SD カード内の「Reports」フォルダに保存されている XML ファイルです。該当するファイルを選択して開きます。

開く

コンピューター > Memory Card (F:) > Reports

整理 新しいフォルダー

ドキュメント ビクチャ ビデオ ミュージック

コンピューター OS (C:) Memory Card (F:) ネットワーク

更新日時 種類 サイズ

BMW\_DTC-001.xml 2018/07/24 18:53 XML ドキュメント 4 KB

ファイル名(N): BMW\_DTC-001.xml

開く(O) キャンセル

3. 診断ファイルが読み込まれました。診断ファイルの内容は「診断レポート印刷イメージ」の診断結果に反映されます。「印刷」をクリックします。

DiagPrintout Ver.1 0.0.0

車両情報

お客様名 ○○ ○○  
メーカー ○○○  
車種 ○○○  
登録番号 ○○ ○○○ ○ ○○-○○  
車台番号 XXXXXXXXXXXX  
車両型式 XXX-XXXXXX

クリア 開く... 保存...

診断ファイル  
診断ファイル F:\Reports\BMW\_DTC-001.xml

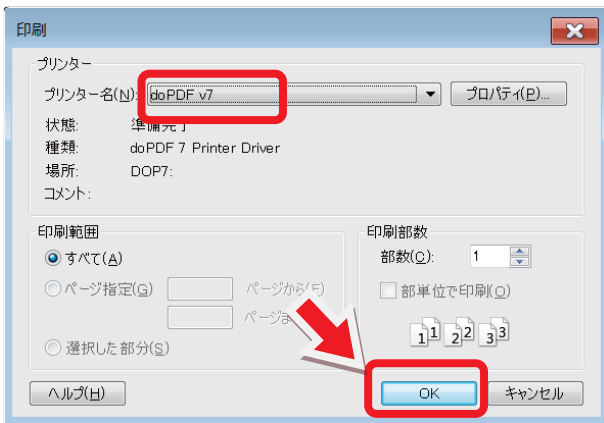
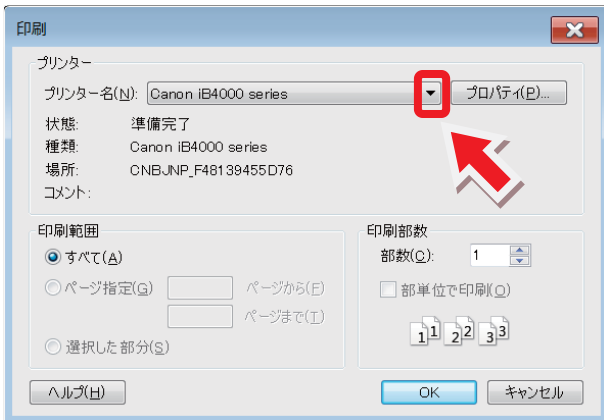
終了 自社情報... 印刷...

## 1. 基本操作

### 4.

印刷ダイアログが表示されます。「プリンター名」のタブをクリックして事前にインストールされた pdf プリンターを選択し「OK」をクリックします。

(例：doPDF v7 の場合)



### 5.

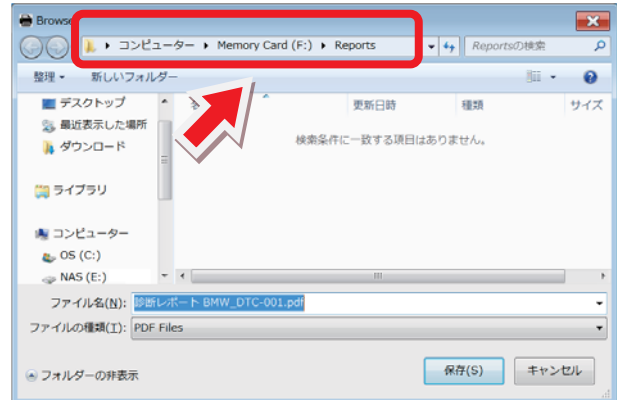
PDF ファイルの保存画面が表示されます。

通常は「ドキュメント」や「ダウンロード」などが保存先に指定されていますが、保存先を変更する場合は「参照」をクリックして保存先を指定します。



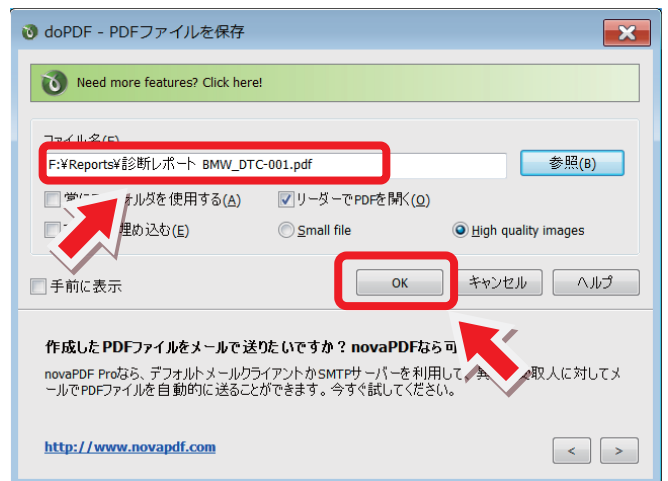
### 6.

保存場所、ファイル名を確認して「保存」ボタンをクリックします。  
(例：SD カード内の Rports フォルダに保存した場合)



### 7.

手順 6 で指定した保存場所、ファイル名になっていることを確認して「OK」をクリックします。



### 8.

手順 6 で指定した保存場所に PDF 形式のファイルが保存されます。

